



きんぼし
東大阪

ニッチな分野に進出 ミノルキューブで新たな挑戦

ミノル化学工業 株式会社

〒577-0827

東大阪市衣摺 1-5-22

TEL 06-6728-3222

FAX 06-6736-2816

http://www.minoru-net.com

http://www.minoru-cube.com

E-mail: oshikawa@minoru-net.com



代表取締役
押川 新一

★創業
1959年（昭和34年）

★資本金
1,000万円

★従業員
10人

★主要営業品目
プラスチック製品製造販売

★トップシェア製品
ミノルキューブ（100%）

ミノル化学工業(株)は、1959年に先代社長が各種プラスチック製品の受注生産を主に手掛ける企業として創業した。当時の主力製品は化粧品関係からキャラクター製品、記念品等、ユーザーのニーズに応じたあらゆる製品に対応し、ユーザーから絶大な信用を得る企業として今日に至っている。

1996年に先代から引継いだ現社長がアイデアマンで、かねてより主力製品のひとつであった透明の正六面体クリアケースに着目し、その応用法について日夜考えていた。ある時、新聞紙面上でお菓子のおまけで使われているフィギュア（小型模型）を取扱う大手企業の記事を目にし、それがきっかけで同社オンリーワン製品「ミノルキューブ」が誕生した。

この「ミノルキューブ」は、動物や恐竜等のフィギュアをコレクターが飾ったりする為のケースとして当初開発された。そこから新たな展開として、斬新なダイレクトメール（DM）の手法を提案。ミノルキューブを定形外郵便として使用することにより、立体のケースがDMとして送られてくれば、受け取った人は必ず強い印象を持ち中身を確認するというものである。このDM手法は、2004年の郵政公社主催の全日本DM大賞・製造部門で銅賞を受賞するに至った。

またその後も用途開発に力を入れ、全面クリアのつなぎ目のない特徴を活かして、フィギュアを用いたジオラマ用ケース、アートや標本をきれいに魅せるケースとして提供。また、文字をいれてディスプレイケースとしたり、写真を入れて6面メモリアルフォトキューブとするなどアイデア次第で用途は無限に広がる。用途が増えるにつれてサイズもS、L、ロング、Lロング、LLサイズと5種類を揃え、それぞれが組み合わせ可能となるように設計している。

加えて、ケース内の商品をより良く見せるための空気の入らない特殊粘着付きプラスチックミラーや、透明仕切り板などミノルキューブ専用関連商品のバリエーションも拡充。更なる事業海外への販路開拓にも意欲を見せる。

